

児童相談所関連研修「司法面接」

<p>【日時】</p>	<p>【第1回】令和3年5月20日（木）、21日（金） 【第2回】令和3年7月1日（木）、2日（金） 【第3回】令和3年12月16日（木）、17日（金） 時間はいずれも 9:00 ～ 17:00</p>
<p>【会場】</p>	<p>特別区職員研修所</p>
<p>【受講者数】</p>	<p>100名（第1回から第3回までの合計）</p>
<p>【講師】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学 OIC 総合研究機構総合 特別招聘研究教授 仲 真紀子 氏 ・司法面接研修トレーナー 武田 知明 氏 ・中野区 子ども教育部 職員（第2回） ・江戸川区 児童相談所 職員（第1回、第3回） ・東京地方検察庁 職員 ・警視庁 職員
<p>【研修内容】</p>	<p><目的> 子どもの心理的負担に配慮しながら、多機関と連携し、虐待被害等の迅速かつ正確な情報収集を行う能力の強化を図る。</p> <p><内容></p> <p style="text-align: right;"><講義の様子></p>  <ol style="list-style-type: none"> ① 司法面接の概要と多機関連携の意義 司法面接の概要、多機関連携の意義、自由報告の練習 ② N I C H Dプロトコルを用いた正確な情報の聴取 DVDを用いたミニ面接演習 ③ 面接の流れと計画の策定 ④ 児童虐待対応における東京地方検察庁と警視庁の取組み ⑤ 子どもの面接演習とロールプレイ① 補助的な証拠に基づく聴取、話さない子どもへの対応 ⑥ 子どもの面接演習とロールプレイ② 子どもからの難しい質問への対応
<p>【受講生の声】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容が具体的で非常に分かりやすく、演習も十分な時間があり、すぐに実践に活かせると感じました。 ・ロールプレイで面接者や児童になり、それを録画で振り返ることで、言葉の選び方や言葉のトーン、目線、姿勢など様々な点に配慮が必要だとわかりました。 ・実践で、演習がとても役立つと思いました。現場で自分の面接を振り返る余裕がないので、とても良い機会でした。

<p>・面接技法の習得だけではなく、関係機関の現場の話も併せて聞くことができたので、とても参考になりました。福祉、司法、警察それぞれの関係者が参加しているのも良かった。</p>
--